

# PEACE GOURD



9条の会・養老  
会報、第19号  
2019年7月28日  
(部内資料)

”ピース・ガード” 「平和の瓢箪」

## 「安倍改憲」をくい止めよう！県下9条の会が交流

九条の会・岐阜県活動交流会に参加して

世話人 中野一美

5月26日、「九条の会・岐阜県連絡会」の呼びかけで岐阜市の岐阜県教育会館で開かれました。約30の会から40名が集まり、昼食を挟んで11時～15時まで情勢討議や活動交流を行い、年内突破を執拗に狙う「安倍9条改憲」をくい止めようと熱心な議論が行われました。その中から、参考になること、気になったことを列記します。

- ① 美濃加茂市では8/6に中学生を各校から2名広島へ送り、報告集会を行っている。
- ② 本巣市では毎年1つの学校の中学2年生全員を広島に送っている。ちなみに養老町の高田中学校では、毎年修学旅行で全員が広島へ行っています。
- ③ 長森では毎年親子平和祭りをしている。教育委員会の後援を取ると案内を自治会、学校に配れる。
- ④ 羽島市では原爆パネル展のチラシを全戸に入れてくれ、テレビもきて1000人ぐらいが見に来た。
- ⑤ マーサで昨年原爆展をした。お客から「いいことだ」と投書があり、またやって欲しいと言ってきた。
- ⑥ 3000万署名一関ヶ原では全戸訪問2周目に入る。山県では手紙を入れて後で回り、予想外の人が協力してくれて、今2000筆位。 関市では月2回の各戸訪問、去年は22回、延べ200人参加。1200軒と対話。6000件は留守だがチラシをいれた。



集まった県内30の9条の会

昨年末には、「今年の通常国会の6月中には改憲発議をして、8月25日には国民投票」と一部では言われていたが、何とかくい止めた。7月の参議院選挙で改憲勢力を2/3以下にして、簡単には改憲発議ができないようにしなくては・・・。

…………… 改憲勢力 3分の2割れ！ …………… 選挙結果を受けて

安倍首相がこれまでの争点隠しから一転、「9条改憲」を前面に出した今回の7/21の参議院選挙、自公での過半数を許したものの、維新やその他を合わせた改憲勢力は2/3の164議席から4議席少ない160議席となりました。当面は強引な改憲はできないだろうが首相は

「自分の任期中の21年9月までの改憲」に意欲を示しています。今後、野党議員の中からの1本釣りや数合わせをしようとしてくるでしょう。ほっと一息、でもまだまだ油断できません。



♪ ♪ 戦後は続くよ どこまでも ♪ ♪

## キリスト教会での9条の会活動報告 (6月17日)

堀江 法夫

私はクリスチャンになって50年になります。大垣市内には10ほどのキリスト教の教会があります。カトリック教会やルーテル教会また同盟福音教会さらに美濃ミッション教会や在日大韓基督教会もあります。私が通っている教会は日本キリスト教会大垣教会です。大垣城の西で裁判所のすぐ南にあります。

さて、この大垣市内の教会の人たちが教派を越えて教会持ち回りで毎月1回テーマをもとに学びと祈りの時をもっています。そしてこの信徒会が50年近くになり、第480回目の信徒会が6月17日(月)に私の教会で開催されました。私が以前世話人をさせていただいていた「9条の会・養老」からも、世話人の方に来ていただきました。

今回のテーマは「キリスト者と平和活動」で、発題は日本キリスト教会岐阜教会の伊藤利明さんでした。伊藤さんは岐阜教会で長老(役員)をされていると共に、「9条の会・各務原」の代表をされています。発題の主な内容として、まず、「9条の会・各務原」のようすです。「9条の会・各務原」は2005年9月に30人で設立されました。農業に携わっている人、大学教授、医師、住職、主婦、弁護士、教員、自営業などの方たちでした。主な活動としては、9条ニュースの発行で今年の4月に第47号を発行しました。また、毎月第3水曜日には「サロン・9条の会」を持ち、自民党の憲法草案や各種啓発ビデオの学習会を実施しています。さらに、「平和の集いin各務原」では講演会や安保法制反対の緊急集会やデモを行ってきました。



大垣教会にて

発題のもう一つの話題は天皇の代替わりについてでした。現在天皇は象徴として国民の大多数に受け入れられている状態ですが、この秋に行われようとしている即位の儀式や大嘗祭は明らかな神道行事で日本国憲法の「国民主権」と「政教分離」さらに「宗教上の組織に対する公金支出の禁止」に違反しています。

聖書に「剣をとる者はみな剣で滅びる」(新約聖書マタイ福音書26章52節)とあります。軍事力で抑え込もうとするものはまたその軍事力によって抑え込まれることになるということです。日本は明治以降、日清・日露の戦争で勝利し世界の列強に加わりましたが、その軍事力に頼り太平洋戦争に突入り尊い命が奪われ、壊滅的な打撃を受けたのです。

今回の信徒会を通しての感想です。憲法9条は人間の知恵を越えた崇高な理念であるとの思いを新たにしました。自由や幸福の追求からは隣国と真の平和は生まれにくいのではないのでしょうか。さらにもう一つは生と死に向き合う宗教を信じる人の多くの方は、過去



伊藤利明さん

に戦争に突き進んでいる時、「反対」の声を上げる人は少なく、国家と歩調を合わせて、戦争に加担していったことに深い反省があるのです。

残念ながら今また戦争に突き進もうとしています。私たちは後年、あの時は仕方がなかったからとはもう言えません。これから先もっと狡猾にまた反対しにくい風潮になるでしょう。でも、全国にいる「9条を守る」多くの仲間と手を取り合って大切な9条を日本そして世界に掲げていきたいと思いました。

## 6/21 第3回【喫茶ピースガード】OPEN!

報告：佐竹 哲（世話人）

去る6月21日、第3回『喫茶ピースガード』を小畑公民館で開催しました。11名の参加をいただき、小人数ながら穏やかにゆっくりと時を過ごすことが出来ました。案内の通り『反戦僧侶～竹中彰元師（垂井町）をしのぶ』と題し、参加者の皆さんとDVDを観賞後、お茶、手作りお菓子をいただいて、おしゃべりをしました。

垂井町岩手の老僧、竹中彰元は1937(昭和12)年、日中戦争(当時は「支那事変」と呼んだ)のさなか、村中挙げて地元の出征兵士を見送る途中に在郷軍人に向かって「戦争は罪悪であると同時に人類の敵であるから止めた方がよい」と大声で発言、その後も近在の寺で行われた法要の席で6人の僧侶に向かって「この度の事変について(中略)自分は侵略のように考える。彼我(ひが)の生命を奪い(中略)人馬の命を奪うことは大乘的な立場から見ても宜しくない。戦争は最大な罪悪だ」と再度、反戦発言をされ、逮捕、陸軍刑法違反で有罪判決を受けたのです。これに対し、所属する真宗大谷派は布教使の資格をはく奪し、懲戒処分を下しました。竹中は1945(昭和20)年10月、静かに息を引き取りました。78歳でした。それから62年後の2007(平成19)年、ようやく真宗大谷派は竹中に対する処分を取り消し、謝罪を表明しました。



竹中彰元師

この事実から私たちが教わるのは、①国が戦争を始めると絶対に戦争に反対できないということ、つまり、自由に発言が出来なくなるということ、②そういう戦時下にそれでも戦争反対を主張した人が、私たちの地元である西濃地方に存在したという驚きの事実があったこと、③戦時下では仏教教団も戦争協力体制になり、竹中のような僧侶を助けるどころか排除したということです。不殺生を教えとする仏教教団及び僧侶も国民(臣民)になり、敵に勝つため殺生をする戦争に積極的に協力したのです。そのような状況下で「戦争は罪悪だ」と公言した竹中は、どれほどの覚悟と悲願をもって発言をされたことでしょうか。そのことを想像するといつも私は涙が出そうになります。

座談会では、戦後74年の現在では戦争の体験、戦争の歴史を知らない人がほとんどになり、もっと歴史に学ばなければ同じ過ちを繰り返すことになるという意見がありました。しかも、現在の政治は、憲法9条を変えて再び戦争の出来る国にしようとする勢力が強く、私たちは政治に無関心ではいけないという声もありました。また、私たち大人から若い世代に戦争の歴史を伝えていく大切さも参加者全員、思いが一致しました。最後に世話人代表の中野さんから、これからも「喫茶ピースガード」を

継続して参加者を広げていきたい旨を話され、和やかな雰囲気の中、会は終了しました。次回の「喫茶ピースガード」は8月24日、ビデオを観賞したりして自由に楽しく話し合いをしたいと思えます。会員の皆様、ぜひ共にお友達を誘ってご参加して下さい。お待ち申し上げます!



当日の様子(小畑公民館)

# ◇◇◇◇◇今後の活動予定◇◇◇◇◇

★7月31日(水) 午後1時半より  
大垣警察市民監視事件口頭弁論  
場所：岐阜地方裁判所 301号法廷

前回5月20日口頭弁論  
岐阜地裁前  
「もの言う自由を守る会」  
HPより



★8月24日(土) 午後1時半より 「喫茶 ピース・ガード」(4回目)  
場所：養老中央公民館第2会議室  
内容：戦争動画DVD「キクちゃんとオオカミ」を鑑賞して  
主催：9条の会・養老 → 別紙チラシ参照



★8月28日(水) 午後6時半より 奥間 政則さん講演会  
辺野古新基地建設をドローンで監視を続ける、土木技師のお話  
場所：岐阜駅前ハートフルスクエアG

★9月8日(日) 午後2時より 「沖縄の歴史や今を知ろう」講演会  
揖斐川町在住の沖縄研究家 古田栄子さんのお話  
場所：大垣市スイトピアセンター  
主催：岐阜コラボ友の会…ともがき大学

★9月17日(火) 午前8時出発  
平和バスツアー  
「明通寺参拝(中寫哲演さん講演)  
舞鶴引揚げ記念館見学」  
主催：9条の会・養老 → 別紙チラシ参照

舞鶴引揚げ  
記念館



## 編集後記

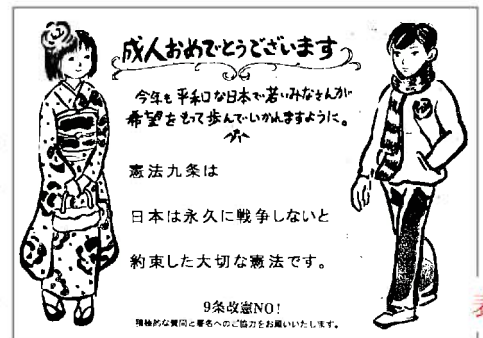
今年も平和バスツアーを  
実施します。

参議院選挙が終わり、与党は自公を合わせて議席も得票も減らしました。選挙後の新聞の世論調査でも、有権者が安倍内閣に望むのは社会保障がダントツの一位だそうです。三代目のぼんぼんの改憲遊びに付き合ってもらえない、といったところでしょうか。にも関わらず、安倍総理は「国民の力強い信任を得た。」と会見で言ったそうです。

ところで、昨年に続き今年もバスツアーを実施します。お話を聞く中寫哲演さんは、小浜で原発反対運動をまとめてきた方で、国宝指定の明通寺(真言宗)の住職をされており、本堂、三重の塔、重文指定の薬師如来像など一見の価値があります。奮ってご参加ください。

世話人 問山尚義

文章は短く、視覚に訴えるもので参考になります。(中野)



表



裏

## 連絡先

「9条の会・養老」世話人  
090-9183-0444 中野一美(代表)  
090-9894-0444 佐竹 哲  
090-2348-0719 問山尚義  
090-8733-0090 禿 憲正  
fax(問山)  
0584-71-8746  
E-mail(問山)  
toiyama@ninus.ocn.ne.jp